

日本ゼオン、液晶テレビ用位相差フィルムの能力増強を決定


2014年1月15日

日本ゼオン株式会社（社長：田中 公章）は、富山県氷見市の光学フィルム工場に液晶テレビ用位相差フィルムの第5系列目となる設備増強を決定しました。

今回、能力増強を行う位相差フィルムは、液晶テレビの視野角^(*1)を広げるために必要な部材で、液晶テレビの画像品質に欠かせない材料です。当社の位相差フィルムは高透明性、低複屈折、低波長分散、低光弾性などの優れた光学特性を有するとともに、低吸湿性、高耐熱性などの優れた寸法安定性を有していることから多くのユーザーに採用されてきました。近年もテレビサイズの大型化や4Kテレビに代表される高精細化が進んでいることから、光学特性が良好で寸法安定性が優れている当社の位相差フィルムへの需要が増加してきています。また、液晶テレビ市場（面積ベース）は今後も安定して成長していくと予想されることから、今回、能力増強を決定しました。

投資場所は、氷見市の既存工場内で生産能力は3,000万㎡/年。2015年4月の量産開始を目指します。この工場には液晶テレビ用位相差フィルムの生産ラインを4系列保有（合計生産能力は6,500万㎡/年）しており、今回の第5系列稼働後は合計9,500万㎡/年の能力になります。

*1 視野角（表示が正常に見える範囲の正面からの角度）

 本件に関するお問い合わせ

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室
Tel : 03-3216-2747

[▶ お問い合わせフォーム](#)

